

平成24年度 第3回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概要>

非常に厳しい結果となった前回調査と比較すると、全般にD1値は僅かながら持ち直しの傾向が見られたものの、動きは少なく依然として厳しい状況が続いている。

<今回調査の特徴>

- 受注量：「増加」がやや増えたものの、「減少」はほぼ変化なく依然として半数超が「減少」。特に、輸送用機器で「減少」が顕著。
- 受注見通し：輸送用機器では引き続き厳しい見通し。
- 受注単価：精密機器で単価厳しく、6割が「低下」。
- 資金繰り：鉄鋼・非鉄、輸送用機器で「悪化」増。
- 採算状況：「黒字」増えるもそれ以上に「赤字」が増え、マイナス拡大。
- 受注余力：8割超が「余力あり」

(平成24年12月末現在)

公益財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	30企業	② 金属製品関係	45企業
③ 一般機器関係	45企業	④ 電気機器関係	45企業
⑤ 輸送用機器関係	30企業	⑥ 精密機器関係	30企業
⑦ 縫製関係	45企業	⑧ 樹脂製品関係	30企業

(3) 調査時点

平成24年12月31日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

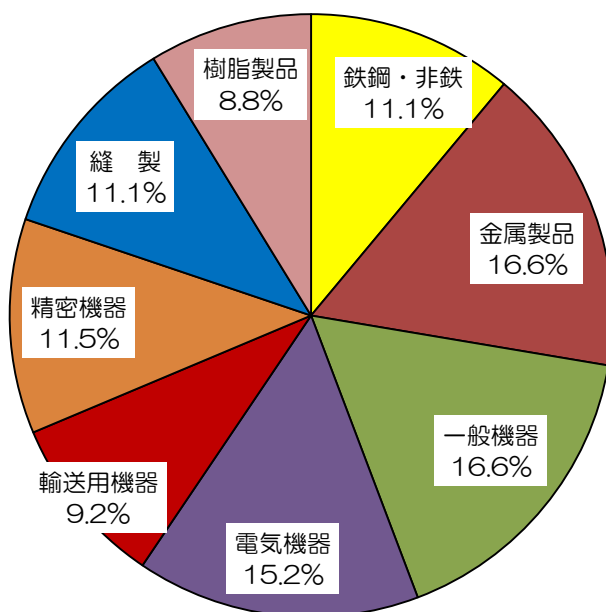
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

① 調査対象企業数	300 企業		
② 回収企業	217 企業		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	24 企業	(11.1%)
	金属製品関係	36 企業	(16.6%)
	一般機器関係	36 企業	(16.6%)
	電気機器関係	33 企業	(15.2%)
	輸送用機器関係	20 企業	(9.2%)
	精密機器関係	25 企業	(11.5%)
	縫製関係	24 企業	(11.1%)
	樹脂製品関係	19 企業	(8.8%)
④ 回収率	72.3 %		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
個人	19 8.8%	1 4.2%			2 6.1%	1 5.0%	1 4.0%	13 54.2%	1 5.3%
~300万円	13 6.0%	1 4.2%	2 5.6%		2 6.1%	2 10.0%	1 4.0%	3 12.5%	2 10.5%
301~999万円	9 4.1%		2 5.6%		1 3.0%	1 5.0%	1 4.0%	2 8.3%	2 10.5%
1000~2000万円	117 53.9%	13 54.2%	27 75.0%	22 61.1%	18 54.5%	7 35.0%	14 56.0%	6 25.0%	10 52.6%
2001~5000万円	43 19.8%	6 25.0%	5 13.9%	12 33.3%	7 21.2%	5 25.0%	5 20.0%		3 15.8%
5000万円超	16 7.4%	3 12.5%		2 5.6%	3 9.1%	4 20.0%	3 12.0%		1 5.3%
合 計	217 100%	24 100%	36 100%	36 100%	33 100%	20 100%	25 100%	24 100%	19 100%

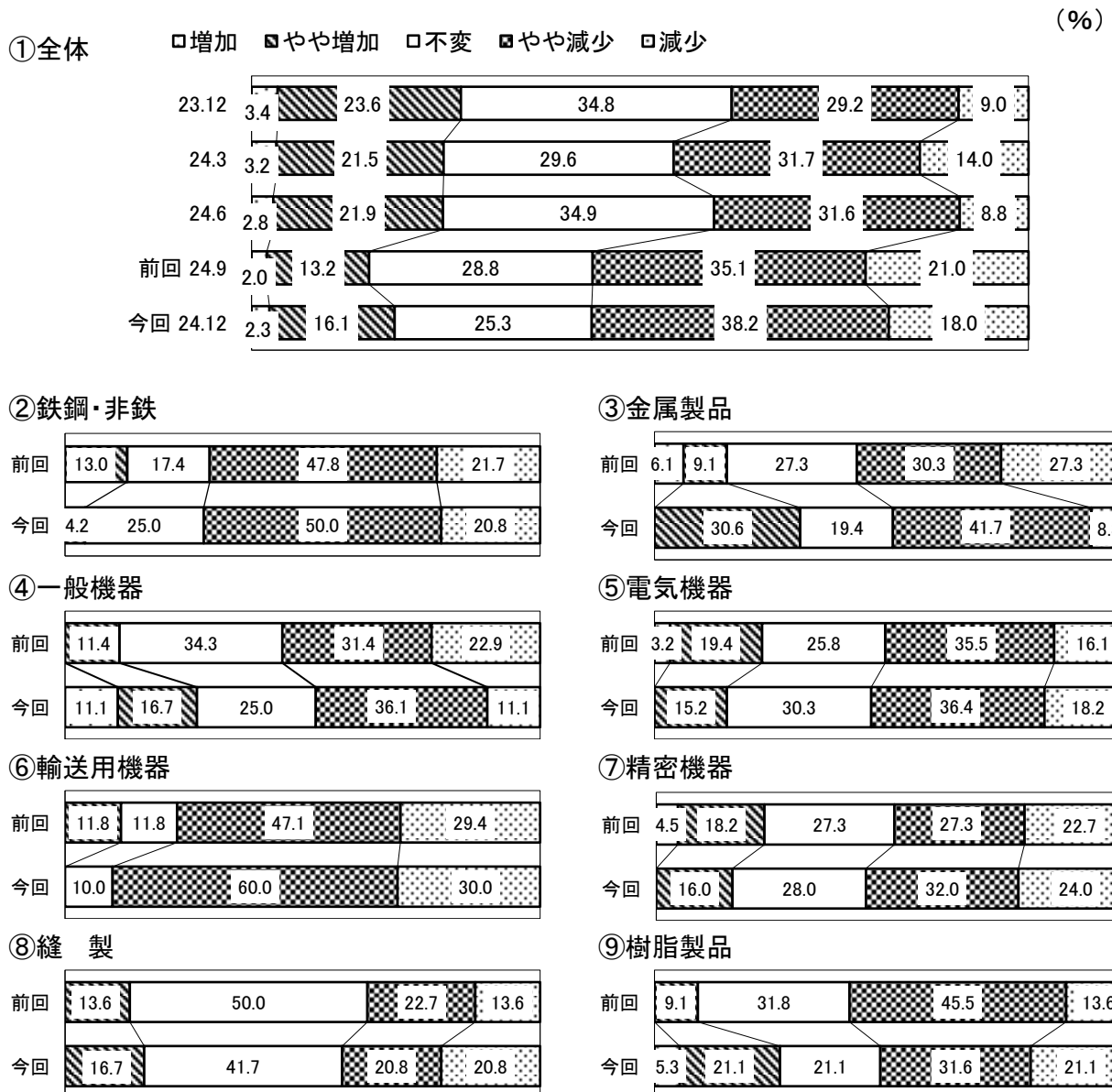
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
1~5人	34 15.7%	4 16.7%	1 2.8%	3 8.3%	4 12.1%	4 20.0%		15 62.5%	3 15.8%
6~10人	24 11.1%	3 12.5%	5 13.9%	2 5.6%	4 12.1%	1 5.0%	5 20.0%	2 8.3%	2 10.5%
11~20人	56 25.8%	4 16.7%	15 41.7%	14 38.9%	6 18.2%	3 15.0%	6 24.0%	4 16.7%	4 21.1%
21~30人	27 12.4%	2 8.3%	6 16.7%	5 13.9%	3 9.1%	2 10.0%	5 20.0%	1 4.2%	3 15.8%
31~50人	30 13.8%	5 20.8%	4 11.1%	6 16.7%	6 18.2%	2 10.0%	3 12.0%	1 4.2%	3 15.8%
51人以上	46 21.2%	6 25.0%	5 13.9%	6 16.7%	10 30.3%	8 40.0%	6 24.0%	1 4.2%	4 21.1%
合 計	217 100%	24 100%	36 100%	36 100%	33 100%	20 100%	25 100%	24 100%	19 100%

3. 調査結果

(1) 受注量について



○全体

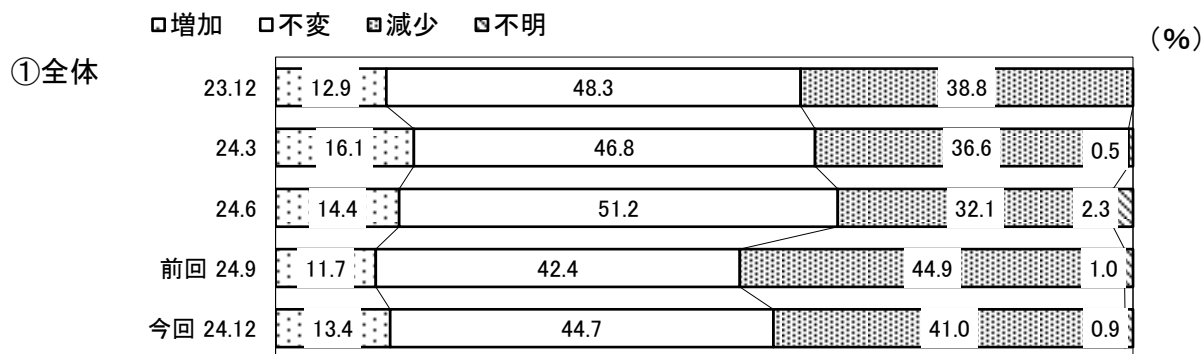
10月～12月期の全体の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は△37.8となり、前期（7月～9月）に比べ3.1ポイント改善の傾向が見られるものの、依然として、「減少」及び「やや減少」と回答する企業が半数を超えており厳しい状況が続いている。

○業種別

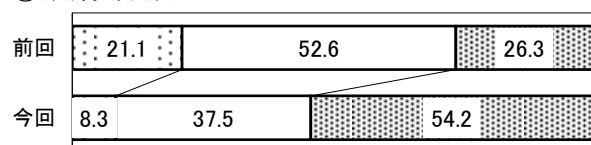
業種別D Iでは、全業種でマイナスとなっており、中でも、鉄鋼・非鉄で△66.6（前期比10.1ポイント低下）、電気製品で△39.4（前期比10.4ポイント低下）、輸送用機器で△90.0（前期比25.3ポイント低下）、精密機器で△40.0（前期差12.7ポイント低下）と大きく悪化がみられる。

一方で、金属製品で△19.4（前期差23.0ポイント上昇）、一般機器で△19.4（前期差23.5ポイント上昇）、樹脂製品で△26.3（前期比23.7ポイント上昇）と改善の傾向がみられる。

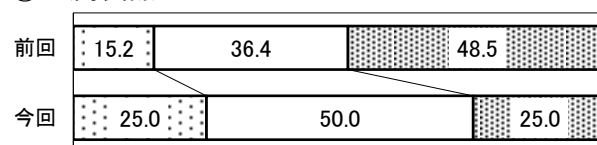
(2) 受注量の見通しについて



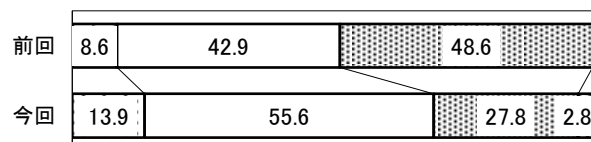
②鉄鋼・非鉄



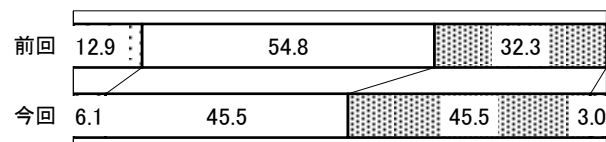
③金属製品



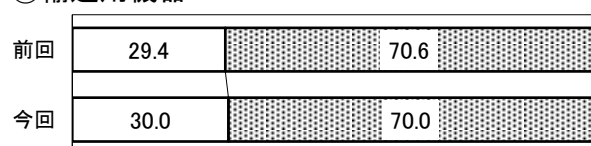
④一般機器



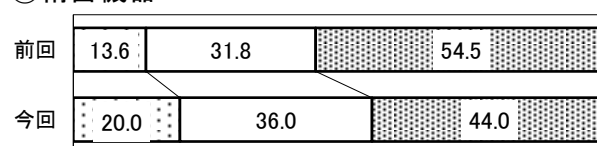
⑤電気機器



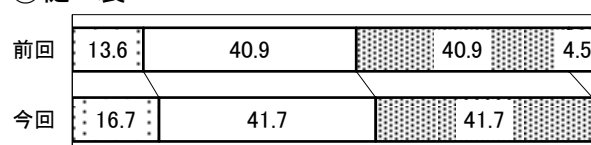
⑥輸送用機器



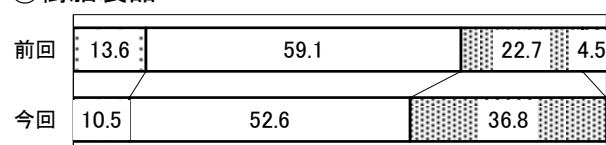
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

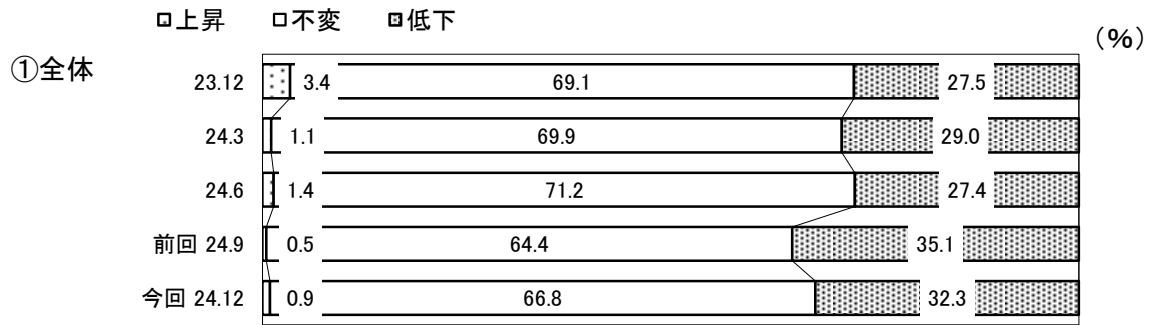
次期（1月～3月期）受注量見通しの全体の業況判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は $\Delta 27.6$ となり、前期（7月～9月）に比べ5.6ポイント改善の見通しとなっている。

○業種別

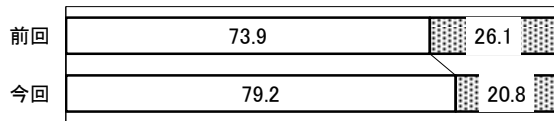
業種別D Iは、金属製品で ± 0 （前期差33.3ポイント上昇）、一般機器で $\Delta 13.9$ （前期差26.1ポイント上昇）と改善の見通し。

受注量が大きく減少した輸送用機器では、7割が今後の見通しも「減少」としており、引き続き厳しい見込みとなっているほか、鉄鋼・非鉄で $\Delta 45.9$ （前期差40.7ポイント低下）、電気機器で $\Delta 39.4$ （前期差20.0ポイント低下）と大きく悪化の見通しとなっている。

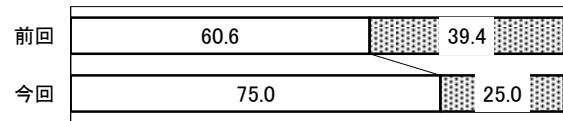
(3) 受注単価について



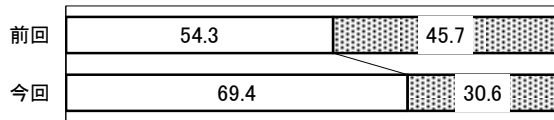
②鉄鋼・非鉄



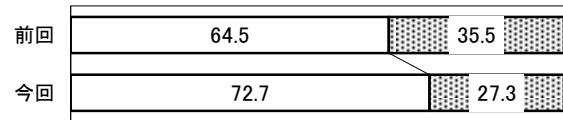
③金属製品



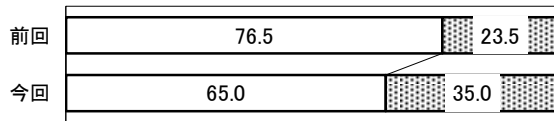
④一般機器



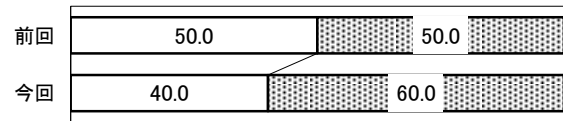
⑤電気機器



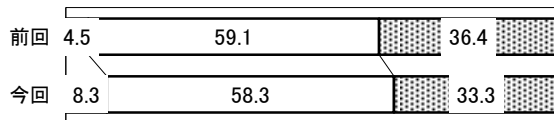
⑥輸送用機器



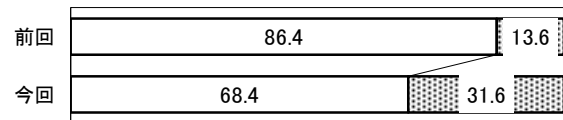
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

10月～12月期の全体の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は△31.4とマイナス幅がやや縮小し、前期（7月～9月）に比べ3.2ポイントと、僅かながら改善が見られる。

○業種別

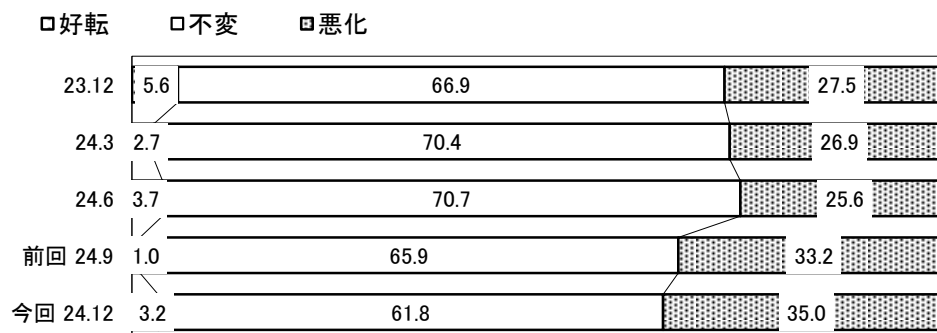
業種別DIは、金属製品で△25.0（前期差14.4ポイント上昇）、一般機器で△30.6（前期差15.1ポイント上昇）と改善が見られる。

一方で、輸送用機器で△35.0（前期差11.5ポイント低下）、精密機器で△60.0（前期差10.0ポイント低下）、樹脂製品で△31.6（前期差18.0ポイント低下）と悪化がみられ、特に精密機器の「低下」の多さが目立つ。

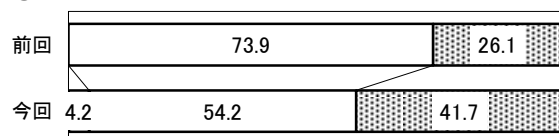
(4) 資金繰りについて

(%)

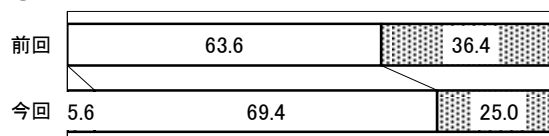
①全体



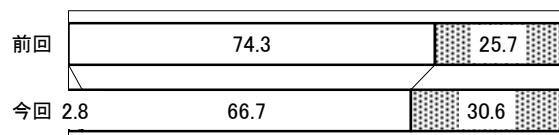
②鉄鋼・非鉄



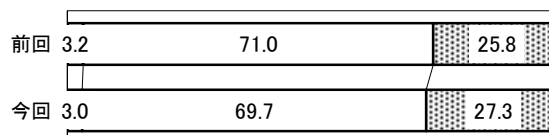
③金属製品



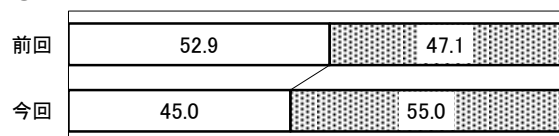
④一般機器



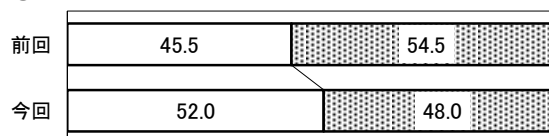
⑤電気機器



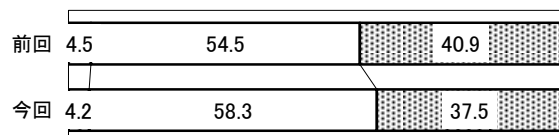
⑥輸送用機器



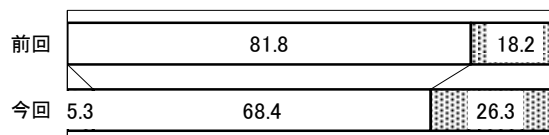
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

10月～12月期の全体の業況判断DI（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は、「好転」「悪化」とも微増。△31.8と前期差0.4ポイント増加とあまり変化は見られない。

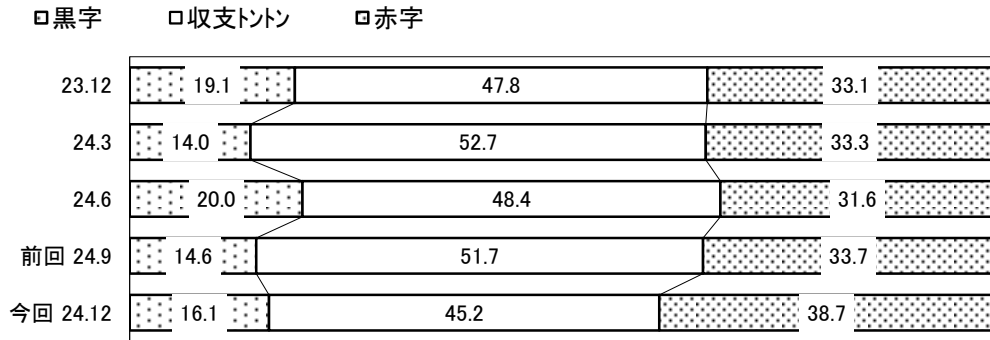
○業種別

業種別DIは、金属製品で△19.4（前期差17.0ポイント上昇）と改善が見られる。精密機器でも△48.0（前期差6.5ポイント上昇）と数字上では改善が見られるものの、依然として半数近くが「悪化」としている。一方、鉄鋼・非鉄では△37.5（前期差11.4ポイント低下）、輸送用機器で△55.0（前期差7.9ポイント低下）とマイナス幅が拡大し、悪化が見られる。

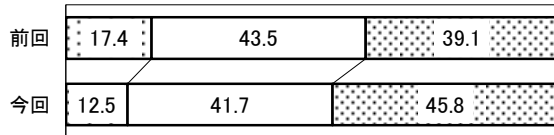
(5) 採算状況について

(%)

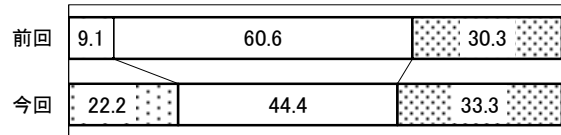
①全体



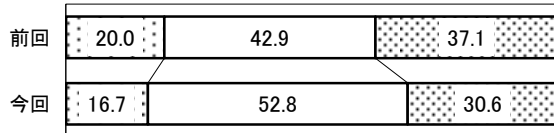
②鉄鋼・非鉄



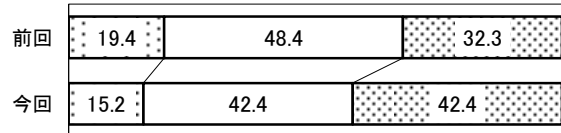
③金属製品



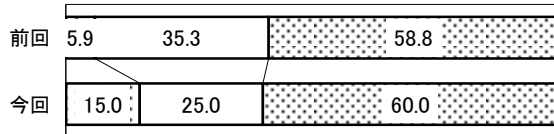
④一般機器



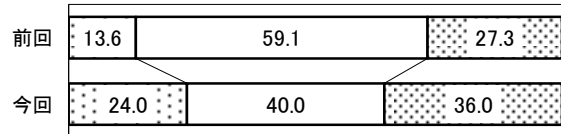
⑤電気機器



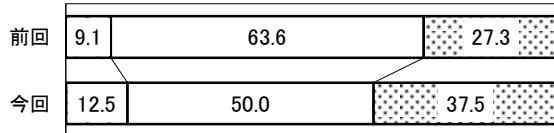
⑥輸送用機器



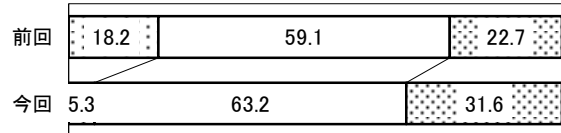
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

10月～12月期の全体の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は△22.6となり、前期（7～9月）に比べてマイナス幅が3.5ポイントさらに拡大し、悪化が見られる。

○業種別

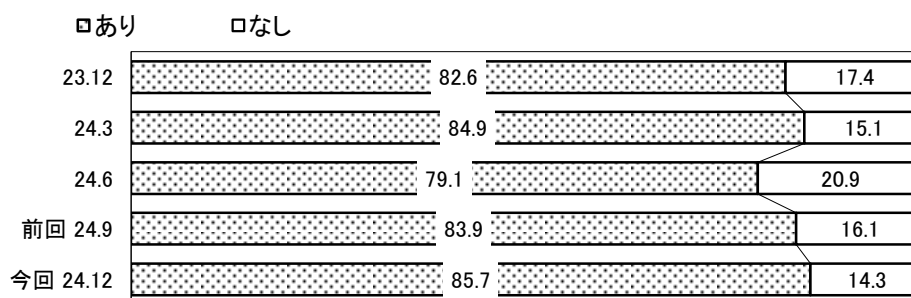
業種別DIは、輸送用機器で黒字の企業が増えたため△45.0（前期差7.9ポイント上昇）となったものの、赤字の企業も6割を占めているほか、電気機器で△27.2（前期差14.3ポイント低下）、樹脂製品で△26.3（前期差21.8ポイント低下）と、悪化がみられる。

一方、金属製品で△11.1（前期差10.1ポイント上昇）と、やや改善が見られる。

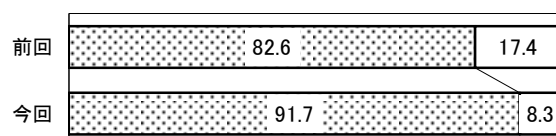
(6) 受注余力について

(%)

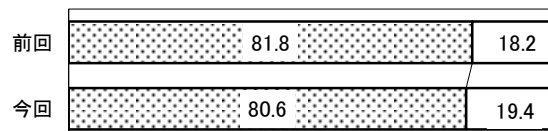
①全体



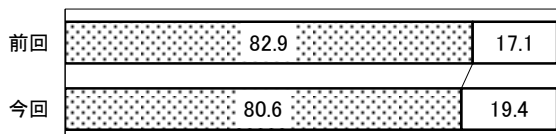
②鉄鋼・非鉄



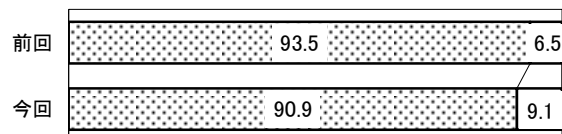
③金属製品



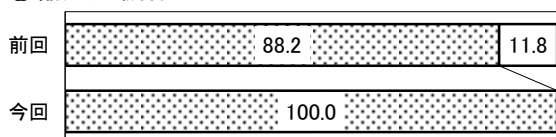
④一般機器



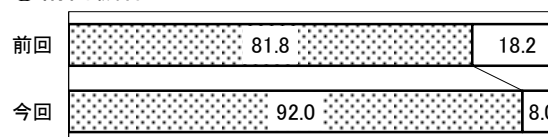
⑤電気機器



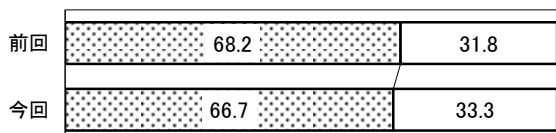
⑥輸送用機器



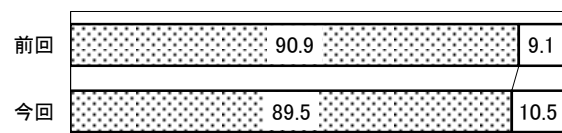
⑦精密機器



⑧縫製



⑨樹脂製品



○全体

「受注余力あり」とする企業は、85.7%と前期に比べて1.8ポイント増えた。

○業種別

輸送用機器では、全回答企業が「受注余力あり」としている。

前回調査に続いて、縫製のみ3割超の企業が「受注余力なし」としている。



公益財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-9234 FAX (075) 315-9240

E-mail: office@ki21.jp

U R L : <http://www.ki21.jp>